



若草園を支える会 会報 後援会だより

平成24年(2012)4月20日発行 第10号
事務局：社会福祉法人 栄光会 若草園 内
〒787-0155 高知県四万十市下田2211
Tel (0880)33-0247/Fax 33-0518
IP電話(050)3344-8850
会長：山崎祥正



取引口座 郵便局 01610-5-9632 社会福祉法人 栄光会 若草園
幡多信 下田支(普)0083497 「若草園を支える会」会長山崎祥正

機関紙『わかくさ』第20号をお届けします。

お知らせ



◆総会を5月17日(木)に開催します

皆様のご参加をお願いします。詳しくは裏面をご覧ください。

◆みなさま一人ひとりのお蔭さまで

平成23年度『若草園を支える会』の会計決算概要を速報でお伝えします。正式には監査、役員会、総会での承認を受けてから公表させていただきます。

収入は会費等が約145万円。支出は、会費の郵便口座への振込手数料約3万円、機関紙発行など事務費が約10万円、園児に対する支援に約75万円。今年度繰越残高は140万円弱となりました。

昨年度は収入・口数とも過去最大となりましたが、2年連続で最高記録を更新する決算となりました。振り返りますと地震災害や台風災害の募金などもありましたが、遠くの支援もさることながら地元若草園へ心を下さる方が多かった事をはかり知る事が出来ます。ほんとうにありがとうございます。

今年も下の記事のとおり、児童のために用いることができました。みなさまのご協力、ご支援の賜物です。ありがとうございました。

平成24年度会員継続の手続きは総会の後にご案内させていただきます。これからも若草園の子ども達を支える背後の力として、みなさまの善意をお寄せ下さいますように、引き続きお願い申し上げます。

◆卒園児童への援助

この3月に若草園を巣立っていった児童に、自動車学校費用を援助しました。下記はそのお礼状です。ありがとうございました。



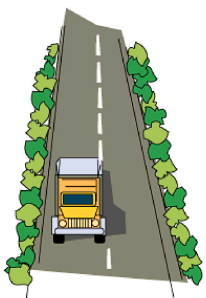
この度は、自動車免許取得の為に学費を貸して頂き、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

学校の卒業課題や部活動で毎日が忙しく、たくさん人達に迷惑を掛けてましたが、無事に就職を決める事ができました。後に会社の先輩から、仕事内容の中にどうしても普通自動車免許が必要な仕事があると知り、自動車学校へ入学しようと考えました。しかし私は、アルバイトをやっていたので学費を払える程貯金をしていませんでした。

そんな時、ささえる会様から学費を貸して頂きました。おかげ様で無事に免許の取得が出来、会社の仕事にも参加ができそうです。

社会人一年目を迎えるこの春、まだまだ社会人としてのマナーや責任など、未熟な僕ですが、ささえて下さった皆様への感謝の気持ちを忘れずに、日々努力し、少しでも早く立派な社会人へとになりたいと思っています。

最後になりましたが、これから来年、再来年と私の後輩がお世話になると思うので、その時はどうぞよろしくお願ひします。



水野翔太



◆平成24年度支える会総会のご案内

日時 5月17日(木曜日) 18:30~20:00

場所 四万十市社会福祉センター (四万十市右山五月町 Tel.35-3011)

議題 ①H23活動報告、②収支決算、③H24活動計画、④役員人事、⑤その他

会員皆様のご参加によって成り立っています。ぜひともご参加下さいますように、お願い申し上げます。

◆会員総数が1,335名に

平成23年度会員数は893名です。前年度末の747名を上回ってのご加入に感謝申し上げます。また、以前に加入され平成23年度中に会費の納入がまだの方や、関係各所で加入に関わらず会報をお届けしている先が合わせて471あり、支える会としての人脈は1,335名(個所)にも広がりました。前回の総会にて決議されました、3年間会費の納入が無かった288名を削除させて頂きましたが、新たに加入して下さる方もあり、総数としては1名の純増となりました。

皆様のご尽力で力強い後援会に成長できました事を喜んでご報告致します。

★事務局のこぼればなし②

機関誌『わかくさ』には大々的に案内されておりますが、若草園創立55年記念事業が開催されます。具体的には今年(2012年)7月1日をもって、若草園は創立満55年となるのです。50周年がキリが良かったのですが、ちょうど建て替えの時期と重なり、意識の中にはあったのですがその事を大きく取り上げる事が出来ませんでした。

記念事業実行委員会を組織して、法人(栄光会)として計画に当たりましたが、「55年も語呂としては悪くない」との意見も寄せられました。55は「ゴーゴー」と読み“Go! Go!”に通じるからでしょう。子ども達の中で「行け、行け、ゴーゴー」というかけ声が流行った時期がありましたが、前向きに前向きにとの思いで、55年を祝える事はすばらしい事だと思います。

建て替え資金の借金を背負っての施設運営のため、20年間にわたって資金難になる事は承知の上でした。記念事業をするにあたって何らかの費用が発生するものです。その費用捻出のためにも討議なされました。

結果として、「若草園を支える会」の皆様には通常通りの支援をいただけるように、支える会とは別の方面で募金活動を展開いたしました。その甲斐あって、記念事業の資金も潤沢に備えられました。どうぞ、機関誌に案内されております記念事業の1つ1つにもご参加下さい。若草園55年の歴史の重みを肌身に感じて頂ければと思います。

「若草園を支える会」総会にも、ご参加頂ければと思います。さまざまな形での善意が寄せられていますが、文面にはしがたい報告もさせて頂きたいと考えております。募金をすることはお財布には厳しいご時世ですが、それに見合う心の豊かさを提供できればと願っています。「心が温まるね」と互いに感想を述べ合いながら散会していく会になればと思います。

おもてにも感謝状が載せられておりますが、支えられた者の喜ぶ姿がなによりの報いになります。地元四万十市にあるこの子ども達の施設のために、これからもみなさまの“こころ”をお寄せ下さいますように、お願い申し上げます。最後までお読み下さり、ありがとうございました。(事務局 瀬戸雅弘)



会報・機関紙の送付が不要になった方は若草園にご連絡ください。知友に紹介する方、最近届かなくなった方もどうぞ。



✉事務局直通メール
wakakusaenjimu@
yahoo.co.jp

